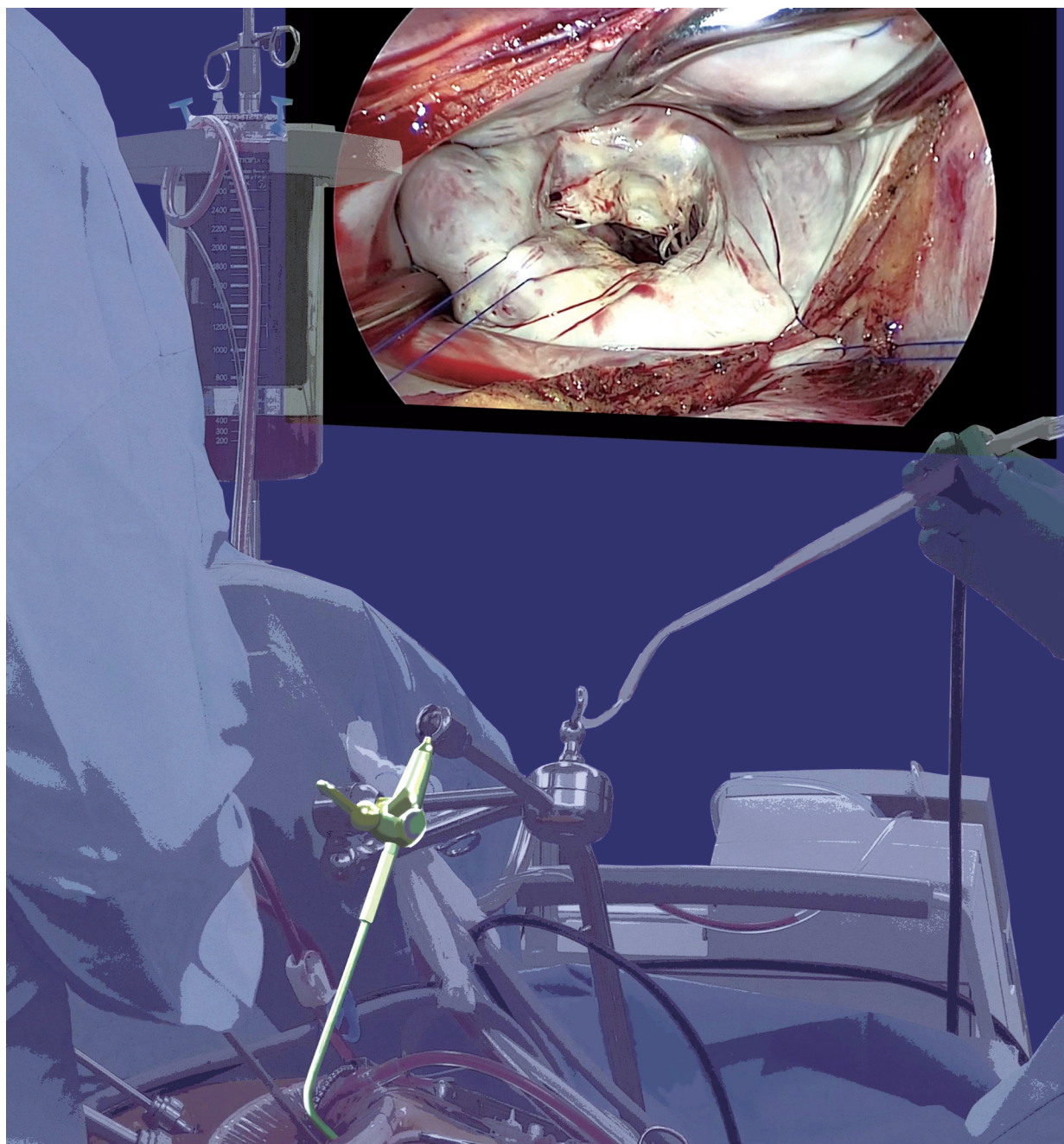


メラ MICCS用左房鉤

MICS Atrial Retractor



MICS (Minimally invasive cardiac surgery)用 Retractor は右小開

ブレード部分とシャフト部分は一体構造になっており、従来の胸腔内でシャフトとブレードをネジ固

1. シャフト挿入のために前胸部に作成する副次創が不要です。

一体構造の鉤を主創から挿入するだけで使用できます。出血リスクを減らし、美容的結果も改善します。

2. ブレード位置を深浅左右に微調整できます。

シャフトが胸壁に固定されていないため操作に応じた最適位置、方向に展開する事ができ弁下組織の展開もこれ一つでできます。

3. 胸腔内での組み立て操作が不要です。

左房切開後、面倒な組み立て操作無しに直ちに僧帽弁を展開する事ができます。ブレードサイズを選択に迷う事はありません。

4. 操作、視野の邪魔になりません。

シャフトは5mm細径ステン鋼線で作成されており、主創の正中側端にシャフトを位置させた際に最適な左房展開が出来る様に解剖学的に適当な曲がりがつけられています。

5. 右房展開にも使用できます。

牽引方向、深度が調整できるため、引き続き三尖弁輪形成の際の右房展開にも使用できます。

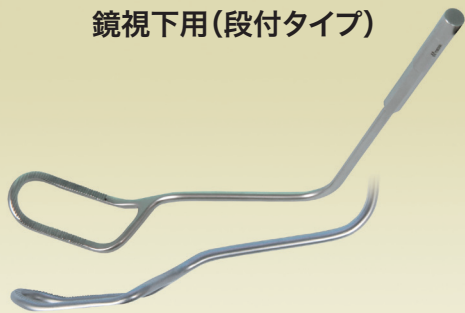
6. ほぼすべてのサージカルアームにより保持できます。

シャフトはテーブルに固定したサージカルアームを用いて保持します。φ8mm丸棒と六角加工の2段の保持部分があり既存の殆どのサージカルアームでの強固な保持が可能です。

■ デザイン上の特徴と使用法

シャフトの曲げ方により2タイプ(段付きタイプ、ストレートタイプ)があります。

鏡視下用(段付きタイプ)



左房切開創をあまり腹側に牽引せず、ブレード先端を引き上げられます。

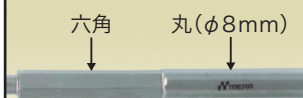
直視下用(ストレートタイプ)



左房切開創をより腹側に強く展開できます。



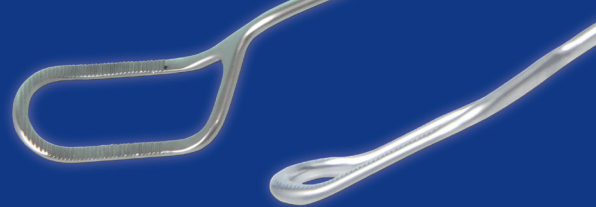
先端部に横スジが施してあります。



あらゆるサージカルアームに取り付けられます。

胸による僧帽弁手術用にデザインされています。

固定するMICS用左房鉤の煩雑さを解消しました。



1.共通した特徴

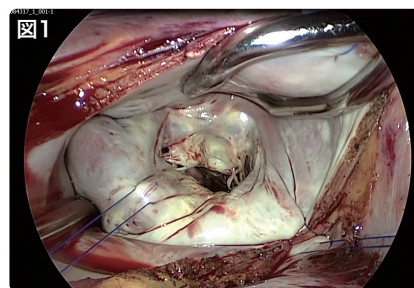
第4肋間開胸創と僧帽弁中心軸はややずれがあり、僧帽弁中心軸の方がやや頭側に位置します。このずれを吸収するために、シャフトはブレード部分の中心から尾側にオフセットされています。

2.使い分け

シャフトの曲げには2タイプを用意しています。MICSにおいて正中切開の場合とは異なり、左房切開創をあまり腹側に強く牽引すると左房後壁が吊り上がり僧帽弁P3付近の視野が悪化する事があります。段付きタイプは左房切開創をあまり腹側に牽引せずにブレード先端を引き上げられる、所謂「先を効かせた」展開が出来る様に設計されています。鏡視下MICSの様に切開創を比較的側胸部寄りに作成する視野展開に向いています。ストレートタイプは横から見た際に段付きの曲げが無く、左房切開創をより腹側に強く展開できます。直視下MICSにおいて、前尖弁輪を良く観察したい場合に心房中隔が視野を妨げない様に設計されています。一般的に創を比較的側胸部寄りに作成した直視下MICSに向いています。これはあくまでも一般的な使い分けであり、直視、鏡視にかかわらず一方で思うような視野展開が得られない場合に他方のブレードで視野が改善する事があります。

3.使用のステップ

- ①右側左房切開創中央にステイスチャーをかけて牽引します。
- ②左房鉤のブレード部分を胸腔内に入れ、その後シャフト部分をサージカルアームと連結します。
- ③ブレードを左房に入れ僧帽弁視野を得ます。
鉤を前尖の真上方向に引くよりもすこし向かって右上方向(右繊維三角の方向)に引くと弁が横方向にも展開されます(図1)。
- ④位置が決まったらサージカルアームの固定ネジを締めます。
- ⑤シャフトは操作の邪魔とならない様、創の正中側端に位置する様にします。
通常この位置で最適な展開が得られる様に設計されています。
- ⑥左房後壁は背側の心膜に2点程プロリン糸で牽引固定して、弁を背側にも牽引展開します。

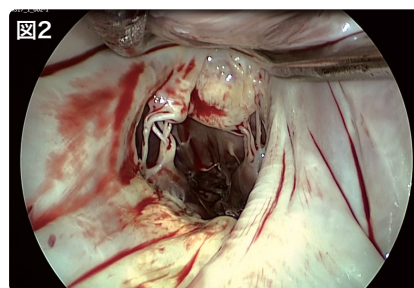


4.ブレードサイズと使用法のコンセプト

ブレード幅は比較的狭目30mmのワンサイズとなっています。本品は一度の位置決めで弁全体の展開を得て操作するのではなく、弁操作のステップに応じて適宜位置を微調整しながら使用します。そのため、自由度が高いやや小さめの幅となっています。

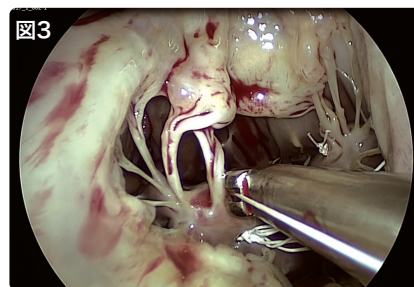
5.弁下組織の展開

乳頭筋への人工腱索固定の際、垂れ下がる前尖を拳上展開しなければなりません。本左房鉤の先端部分を少し左心室まで入れる事により別の器具等を使うことなくスマートな展開ができます(図2、3)。この方法による前尖の拳上展開は後尖に対する切除縫合操作を行う場合にも有効です。操作が終わったら鉤を左房まで戻して水試験をします。



6.脱血不良の際の視野展開

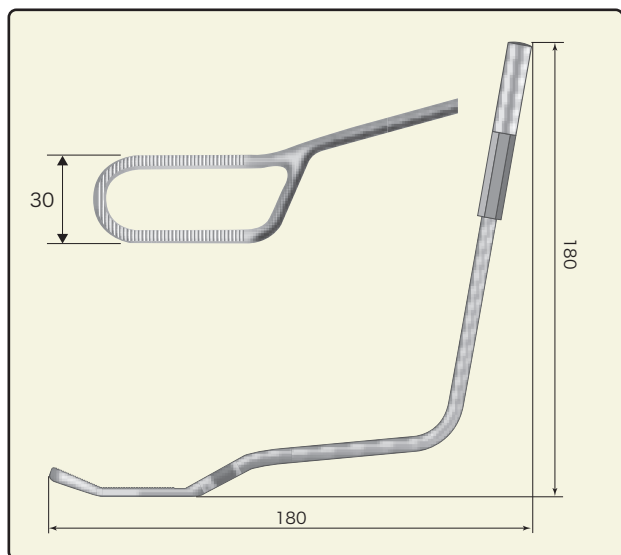
脱血不良の場合、心房中隔が膨隆して左房が圧迫され視野が悪化します。左房鉤による展開をいくら工夫しても改善しませんので根本的な脱血の改善がまず必要です。



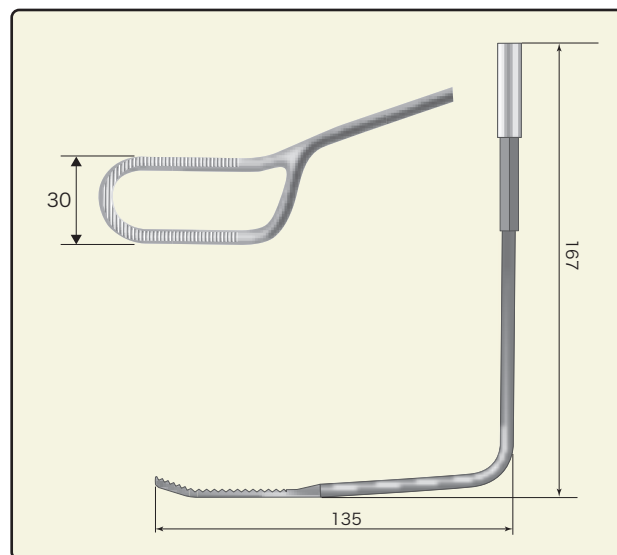
仕様

コード番号	JANコード(14)	販売名	規格/型式	包装(数量)	許認可番号	クラス
0452012800	4544753045940	メラ MICS用左房鉤	鏡視下用 30mm	1本/袋	11B1X00016000234	I
0452013000	4544753045964	メラ MICS用左房鉤	直視下用 30mm	1本/袋	11B1X00016000234	I

鏡視下用



直視下用



考案:名古屋第一赤十字病院 第一心臓血管外科 伊藤敏明先生
 聖路加国際病院 心血管センター 阿部恒平先生

製造販売業者

MERA 泉工医科工業株式会社

■ 埼玉県春日部市浜川戸2-11-1 ■ 問い合わせ先: 本社商品企画 TEL.03-3812-3254 FAX.03-3815-7011

札幌支店

〒060-0031 札幌市中央区北一条東4-8-1 サッポロファクトリー・フロンティア館4階
 TEL.011-210-2720 FAX.011-210-2721

東北支店

〒982-0014 仙台市太白区大野田字血屋敷6-1
 TEL.022-748-1225 FAX.022-308-8820

青森営業所

〒030-0919 青森市はまなす2-16-15
 TEL.017-726-6730 FAX.017-737-0137

盛岡連絡事務所

〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 オーキットハウスB号室
 TEL.019-658-1631 FAX.019-658-1632

福島連絡事務所

〒960-0112 福島市南矢野日字荒屋敷58-10 企業情報福島ビル1階
 TEL.024-555-6601 FAX.024-555-6602

関東支店

〒344-0059 春日部市西八木崎3-11-15
 TEL.048-761-0521 FAX.048-761-0527

つくば営業所

〒305-0821 つくば市春日3-5-20
 TEL.029-852-7310 FAX.029-855-7175

松本営業所

〒399-0007 松本市石芝3-1-1 石芝ビル101号
 TEL.0263-29-1366 FAX.0263-29-1367

新潟連絡事務所

〒950-2028 新潟市西区小新南1-2-7 ウェルズ小新C号室
 TEL.025-201-3221 FAX.025-232-9105

東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷3-43-16 成田ビル4階
 TEL.03-3812-3331 FAX.03-3812-3332

横浜営業所

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-23-3 新横浜AKビル3F
 TEL.045-476-8850 FAX.045-476-8859

中部支店

〒460-0022 名古屋市中区金山1-1-15
 TEL.052-331-3121 FAX.052-339-3862

静岡営業所

〒422-8005 静岡市駿河区池田59-1
 TEL.054-287-7081 FAX.054-287-7082

金沢営業所

〒920-0027 金沢市駅西新町1-39-10
 TEL.076-224-7717 FAX.076-224-7727

関西支店

〒540-0005 大阪市中央区上町1-24-2
 TEL.06-6764-8030 FAX.06-6764-8040

中四国支店

〒733-0002 広島市西区楠木町1-10-8 第4ミタニビル
 TEL.082-294-3202 FAX.082-295-3598

岡山営業所

〒700-0973 岡山市北区下中野1230-5
 TEL.086-805-0037 FAX.086-805-0160

高松連絡事務所

〒760-0078 高松市今里町2-6-1
 TEL.087-861-2146 FAX.087-861-2150

九州支店

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町1-1-14
 TEL.092-474-0381 FAX.092-411-1325

鹿児島営業所

〒890-0055 鹿児島市上荒田町25-11 メゾン林A103
 TEL.099-256-7843 FAX.099-256-4789

注意

実際のお取り扱いの際には添付文書をよくお読みになってからご使用下さい。

■常に研究・改良に努めておりますので、仕様の一部を変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

●2015/9/2000 ●届出番号:11B1X00016000234 ●不許複製 ●S-1 ●B-63 ●BO-0270-01

www.mera.co.jp/